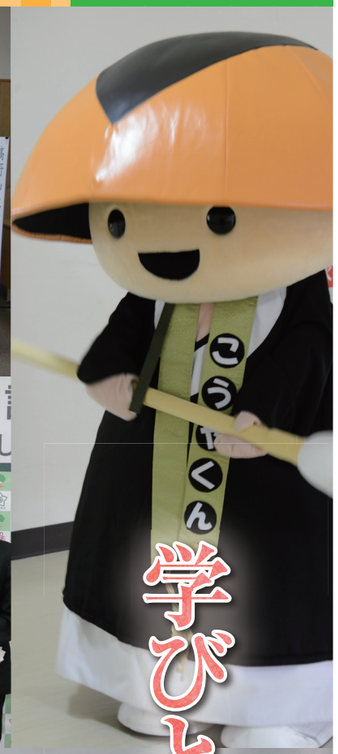
マハー・ヴァイローチャナ

Mahā Vairocana



高野山大学

検索しても出ない答えがここにある

学びと文化 さらに広げて

85

www.koyasan-u.ac.jp

講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

【講師派遣お申込み手順】
1.高野山大学公式ホームページの[大学案内]「講師派遣」から、「講師派遣依頼フォーム」より、必要事項(ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマ等)を記載の上お申込みください。
2.講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。
※「講師派遣依頼書」を提出していただく場合もあります。

【注意事項】
1. 講演料(手取り額)
60分　¥20,000
90分　¥30,000
※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。
2.交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)。
3.講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
4.大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。
※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。

こちらのQRコードからもアクセスできます。〉〉

http://www.koyasan-u.ac.jp/info/dispa

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や学習・就職支援室の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は
○大学の設備・備品費などの諸経費　○地域との連携事業の経費
○学習・就職支援室の活動費
などに用いさせていただく予定です。
高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、"魅力ある大学づくり"をキーワードにこれからも様々な教育改革に取り組んでまいります。
皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援をこころよりお願い申し上げます。
この趣旨に賛同していただける方は、お手数をおかけいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。
ご連絡をいただきました方には、大学から、
○寄付申込書　○寄付金用振替用紙　○返信用封筒
をお送りさせていただきます。なお寄付金は、一口2,000円以上とさせていただいております。
皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】
今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用下さい。

2022年度　選抜(入試)概要

選抜(入試)日程(密教学科・別科)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜Ⅲ期(一般・寺院後継者) 総合型選抜Ⅲ期(書道)	令和4年1月7日(金)～1月24日(月)消印有効 事前説明会11/16(火)～1/17(月)除、冬期休業	2/4(金)	2/10(木)
総合型選抜Ⅳ期(一般・寺院後継者)	令和4年3月7日(月)～3月17日(木)必着 事前説明会1/18(火)～3/10(木) 窓口受付は17日午後4時まで	3/22(火)	3/24(木)
一般選抜(前期)	令和4年1月7日(金)～1月24日(月)消印有効	2/4(金)	2/10(木)
一般選抜(中期)	令和4年2月14日(月)～3月4日(金)必着 窓口受付は4日午後4時まで	3/11(金)	3/18(金)
一般選抜(後期)	令和4年3月7日(月)～3月17日(木)必着 窓口受付は17日午後4時まで	3/22(火)	3/24(木)
社会人選抜	令和4年1月7日(金)～1月24日(月)消印有効	2/4(金)	2/10(木)
編入選抜(中期)／社会人編入選抜(中期)	令和4年2月14日(月)～3月4日(金)必着 窓口受付は4日午後4時まで	3/11(金)	3/18(金)
編入選抜(後期)／社会人編入選抜(後期)	令和4年3月7日(月)～3月17日(木)必着 窓口受付は17日午後4時まで	3/22(火)	3/24(木)
3年・社会人編入選抜(中期) 大阪難波サテライト	令和4年2月14日(月)～3月4日(金)必着 窓口受付は4日午後4時まで	3/11(金)	3/18(金)
3年・社会人編入選抜(後期) 大阪難波サテライト	令和4年3月7日(月)～3月17日(木)必着 窓口受付は17日午後4時まで	3/22(火)	3/24(木)
留学生選抜Ⅱ期/留学生編入選抜Ⅱ期	令和4年1月7日(金)～1月24日(月)消印有効	2/10(木)	2/18(金)
別科選抜Ⅱ期 密教専修コース	令和4年2月14日(月)～3月4日(金)必着 窓口受付は4日午後4時まで	3/11(金)	3/18(金)

選抜(入試)日程(教育学科)

※合格発表は本人宛郵送。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜 (Ⅰ期)	令和4年1月11日(火)～1月28日(金) 消印有効	2/4(金)	2/10(木)
一般選抜 (Ⅱ期)	令和4年2月7日(月)～2月21日(月) 消印有効	2/26(土)	3/4(金)
一般選抜 (Ⅲ期)	令和4年2月14日(月)～3月4日(金) 消印有効	3/11(金)	3/18(金)
一般選抜 (Ⅳ期)	令和4年3月7日(月)～3月22日(火) 消印有効	3/24(木)	3/25(金)
社会人選抜	令和4年1月11日(火)～1月28日(金) 消印有効	2/4(金)	2/10(木)

大学院(通学制)選抜(入試)日程

※大学院は密教学専攻、仏教学専攻

通学制	出願期間	試験日	合格発表
大学院【後期選抜】 修士博士前期課程コース・修士社会人コース・修士僧侶コース・博士後期課程	令和4年2月1日(火)～2月18日(金)消印有効	2/26(土)	3/3(木)

大学院(通信制)選抜(入試)日程

通信制		出願期間
大学院修士課程密教学専攻 通信教育課程 後期選抜		令和4年1月6日(木)～1月21日(金)消印有効
一次審査発表	二次面接	二次合格発表
2/3(木)	2/19(土)	2/24(木)

試験の詳細は
大学ホームページから〉〉

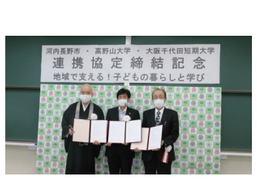
マハー・ヴァイローチャナ
高野山大学 学報 Vol.85
2022年1月1日(1月・7月年2回)発行
発行人/添田隆昭　編集/高野山大学 総務課
発行所/高野山大学　〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385
TEL. 0736-56-2921　FAX. 0736-56-2746
ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C002210
環境にやさしい「Non-VOCインキ」「水なし印刷」で印刷しています。

高野山大学・大阪千代田短期大学と河内長野市が連携協定を締結

今年度より河内長野市の大阪千代田短期大学とキャンパスを共用する形で設置された文学部教育学科では、学生が森林保全や農業、まちづくり活動等の地域の現場に赴き、地域住民との交流を図りながら「人間力」の涵養を図る実習科目「地域体験Ⅰ～Ⅳ実習」が1年次から開講されています。地域住民のご協力のもと、教員を目指す学生諸君が大きな成長を見せています。この実習は、教員にとって、高等教育機関が地域の中で果たすべき役割について、改めて考え、気づかされる機会となりました。また、学生を指導してくださっている地域住民の皆さまから、多くの期待や励ましの言葉を頂戴しました。すでに本学科開設にあわせ、河内長野市教育委員会との間に連携協定が締結されておりましたが、教育の分野にとどまらず、多方面において地域社会と協働し、ともに刺激し合いながら成長できるような関係を築き、発展させていくことが重要であるとの認識に至りました。

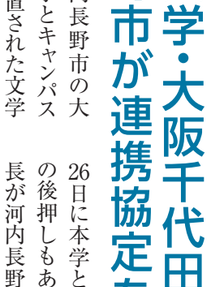
6月11日に行った「地域体験Ⅰ」の報告会に参加していただいた大阪府環境農林水産部（3月26日に本学と事業連携を締結）の後押しもあり、岡本正志副学長が河内長野市の島田智明市長と話し合い、すでに地域においてさまざまな活動を展開していた大阪千代田短期大学の松浦善満学長快諾のもと、三者で連携協定を締結するとともに、これを記念するイベントを併せて開催しました。

イベントは「地域で支える！子どもの暮らしと学び」と題し、河内長野市で暮らす子どもと家庭の現状や、これを支える具体的な取り組みの紹介、今後の地域づくりのビジョン等について、両大学への期待も合わせ、河内長野市および河内長野市社会福祉協議会の皆様にご報告いただきました。それを受け、大阪教育大学特任教授の新崎国広先生より、「地域における教育機関の役割と期待」と題してご講演いただきました。昨今の子どもの暮らしを取り巻く問題は複雑さを極めており、学校の教員が他の職種や地域住民と連携し、地域づくりに積極的に参画することが大切であるとのお話をいただきました。諸報告および講演で示された教員のあるべき姿は、本学が社会に送り出そうとしている教員像と合致する点が多く、今後も地域の皆さまのご協力のもと、子どもを中心に置いた地域づくりを担えるような、人間力あふれる教員の養成に力を尽くしていきたいとの思いを再確認することができました。



イベントの後、河内長野市の島田市長、本学添田隆昭学長、大阪千代田短期大学の松浦善満学長の三者により、協定締結式が執り行われました。島田市長からは、地域住民や学生の利益が最優先される画期的な連携であるとのお言葉をいただきました。今回の協定締結を機に、三者の協力による教育活動や地域貢献活動がより活発なものとなります。すでに企画が始まっているものもあります。今後もさまざまな形でお知らせしますので、文学部教育学科の動きに引き続きご注目ください。

コロナ禍をチャンスに



高野山大学　学長
添田　隆昭

卒業生、在校生、大学関係の皆様。明けまして、おめでとうございます。お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

この原稿を書いている時点では新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着いてきた感じがありますが、新型ウイルスの流行がもたらした社会の変化は、もう、後戻りすることはないでしょう。始めた頃は大きな当惑があった在宅勤務やリモート授業も、各家庭で遠隔の情報のやり取りができる環境が整い、すっかり定着しました。無論、リアルでのふれあいや対面でないと伝わらない点も多々ありますが、この変化は、遠隔地にある本学にとってチャンスでもあります。

世界のトップを走る大学ではコロナ禍により学生が登校できなくなる以前から、地球の裏側でも授業を受けられる体制を整えておりました。本学も、まずさしあたっては日本語で、次には英語での授業配信を進めなければなりません。社会人や社会の第一線を退いた皆さんに密教の門戸を開く時が来たのです。

大卒であれば、2年間の在宅学習で密教学学士の資格がとれるようにし、そして「もっと学びたい」と思われる方に向けては大学院での学びを勧めていかねばなりません。また、新型コロナウイルスだけでなくさまざまな事情で出国が難しい留学生もこのシステムによって自習が可能となります。

コロナ禍にうつむくばかりでなく、新しい可能性に挑戦してまいりたいと思います。

みずみずしく鮮やかな滝 千住博先生が絵画寄贈

日本画家の千住博先生より寄贈いただいた絵画の除幕式が6月26日、高野山キャンパス本館の玄関ホールにて執り行われました。

千住先生はヴェネチア・ビエンナーレで東洋人初の名誉賞（1995）の他、外務大臣表彰（2016）など数多く受賞。国内外での個展の他、オペラの舞台芸術や羽田空港のアートプロデュース・ディレクションを担当されるなど多岐にわたり活躍しており、2020年には金剛峯寺に襖絵を奉納されました。

式には添田隆明学長、山口文章事務局長とともに千住先生と奥様にも参加いただき、ともに幕を外しました。

寄贈いただいた絵画「ウォーターフォール」は、大学でこれから学んでいく学生の若々しさと、高野山の緑と青のみずみずしさをイメージし、天然の素材から作られた群青と緑青を使い、色鮮やかに滝が描かれています。

千住先生は「深淵を追求して描いた襖絵とは全く違うものを作ろうと思いました。共通しているのはどちらに描いた滝にも、その奥にお大師様がいるイメージで描き、襖絵の兄弟、あるいは親子のような作品ができました。何年経っても変色しない天然の色を使って、長く作品がこのままの形でみなさんの目に触れることを考えて作りましたので、末永く大切にしていただければと思います」と話しました。

客員教授 名越康文先生 オンライン講演会

9月18日に本学客員教授の名越康文先生による講演会を開催しました。

名越先生による講演と添田学長と名越先生との対談の2部構成で、緊急事態宣言発令中のためオンラインでの開催となりましたが、大勢の方に参加いただきました。

講演会では「現代の社会における心身へのケアと密教への期待」をテーマに名越先生が40代のときに出会った密教の教えによって、自分が変わるきっかけとなり、コロナ禍であっても心穏やかに生活することができていること、さらに人間の心は、どこまでも成長できるなど、体験談を交え、興味深い話をわかりやすく語っていただきました。

また、難波サテライト教室については、密教や心理ケアを学びたい社会人にとって素晴らしい空間であり、交通の便、図書の充実など教室の魅力を語っていただきました。

名越康文先生には、今後も客員教授として臨時講義などを行っていただく予定です。

※難波サテライト教室では、5月から「密教、心理ケアのワンポイント講座」をYouTube「高野山大学チャンネル」にて更新しておりますので、ぜひご覧ください。

乾龍仁先生 密教学芸賞受賞

10月8日、真言宗各山会と同布教連盟の共同主催による第59回の密教学芸賞と第53回の密教教化賞の授賞式が開催されました。本学からは前学長で本学名誉教授の乾龍仁先生が密教学芸賞を受賞しました。なお本学出身で現在高野山高校校長の橋本真人先生も密教教化賞を受賞されました。

授賞式は兵庫県の宝塚ホテルで執り行われました。正面壇上に高祖弘法大師の御影が掲げられ、真言宗長者で総本山智積院化主の布施浄慧大僧正猊下をお導師としてお迎えし、出席者全員で御法楽が捧げられました。布教連盟常任理事の山川弘巳僧正による授賞の経緯の説明の後、長者さまから各受賞者に賞状と記念品が授与されました。

乾先生は学部大学院を通して、『初会金剛頂経』の梵本校訂で知られる堀内寛仁教授に師事。金剛頂経系密教の文献学・図像学を永年にわたって研究され、数々の新知見を発表されるとともに、後進の育成にも尽力されてきました。今回の受賞はこうした功績に対して表彰されたものです。今後のご健勝とご活躍を祈念いたします。

日本密教学会賞 徐東軍さんが受賞

11月3・4日の両日、東京音羽の護国寺において、第54回日本密教学会学術大会が開催されました。日本印度学仏教学会や日本仏教学会などの仏教系の主要な学術大会が、昨年に続いて今年度もオンライン開催を余儀なくされる中、日本密教学会の今年度の学術大会は無事に対面にて開催することができました。

初日には総本山長谷寺化主の浅井俁雄（かんゆう）大僧正猊下、鈴木常英宗務総長をはじめ、御重役の御臨席の下、開会式並びに日本密教学会賞授賞式が開催され、学術大会でも活発な意見交換がなされました。なお今回、本学会に多大な貢献をなされた方に贈られる名誉会員に、前理事長で大正大学名誉教授の榊義孝先生が推挙され表彰されました。

また昨年度の学会発表者の中ですぐれた研究成果を認められた若手研究者に贈られる日本密教学会賞を、論文「瑜伽集要救阿難陀羅尼焔口軌儀経」の成立に関する「考察」を執筆した留学生の徐東軍さん（大学院博士課程）が受賞されました。現在、徐さんは博士論文を作成中とのこと。一層の研鑽を期待します。

仏教諸学派の学説の研究

密教学科特任准教授
テンジン・ウセル

私が研究しているのは、チベットの仏教学者クンチョク・ジクメー・ワンポ（1728－1791）が45歳の時（1773年）に著した『学説規定摩尼鬘』と、その注釈です。

二千五、六百年前にいらっしゃったお釈迦様は、法輪を三回転じられました。第一はサールナートでの四諦法輪、第二は霊鷲山での無相法輪、第三はヴァイシャーリーなどでの正しく区別された法輪です。それからその聖典に従うナーランダー僧院などのインドの学者たちが、それぞれの主張に基づいて色々な著作を著し、四つの大きな学派が現れました。その四学派とは有部、経量部、唯識派、中観派です。『学説規定摩尼鬘』には、これら四学派の学説が解説されています。それらについて、毎週一回先生方と共同研究をしています。去年は中観派の学説を、今年は唯識派の学説を日本語に翻訳しました。次経量部と有部の学説を翻訳するつもりです。

また外教の六学派それぞれの学説の規定も研究するつもりです。何故ならば、仏教と外教の区別と特徴を深く理解するためには、外教の学説も勉強するべきだからです。

私自身も、お坊さんが五千二百人ぐらいいる南インドの僧院で、二十二、三年間、ナーランダー僧院とそれ以外の四学派の学者たちが著した論理学、般若学、中観、律、倶舎論の顕教の五つの論書と密教経典を勉強して、とても良い時間が過ごせました。もちろん今でも僧侶として引き続き勉強しています。

高野山大学ではチベット語と仏教の授業を持っています。特に仏教の授業では、内容的に出来るだけ深く説明して理解してもらうようにしています。難波サテライトでもその二つの授業を持っています。そこに出席している方たちは社会人が多く、皆さん熱心ですから、いつも授業を楽しみにしています。

インド・ナーランダー僧院址にて

今世界のあちらこちらでチベット仏教の論理的な問答が行われています。これから先、この大学でもその勉強ができれば面白いと思っています。

学童保育の質的向上に関する研究

教育学科 准教授
松本　歩子

私が専門する「家庭科」は、戦後、男女共修の理念のもとに「民主的な家庭建設の教育」を掲げて誕生した教科です。その後、政治や社会から影響を受けながらも、人々がより良く生きるため、男女共同参画に関する教育の担い手として位置づいてきました。しかし近年、それら教育を受け、女性の社会進出が高まった方で、社会の仕組みが十分整ってこなかったことから、子育て世帯が〝子育てをしながら仕事を続けたい〟という思いがあっても実現できない状況を生じさせています。結果、就労に対する意識や出生率にも負の影響を及ぼしています。

私は、その状況に考えさせられ、保育施策の充実に寄与する研究をしたいと思い始めました。中でも、保育所を利用しながら仕事と育児を両立できていた保護者が、小学校入学後に（学童保育が地域にあっても）十分な預け先ではないために仕事を辞めざるを得なくなる「小一の壁」という課題を知る中で、「学童保育の質」に注目するようになりました。

「学童保育」は、働く親の願いによって1950年前後から自主的な共同保育として、草の根的に広がり発展してきました。しかし法的根拠が明確でなかったため、施設環境及び指導員の労働環境も悪く、長年にわたって法制化を求める運動が続けられてきました。そして1997年についに、「放課後児童健全育成事業」の名称で児童福祉法に位置づけられましたが質的向上につながる基準等は示されないまま量的拡大だけが進んでいきました。そのような中、私は各地で現地調査を実施し、他の放課後事業度との比較を通して、学童保育は、子どもにとって毎日の継続した生活の場であり、主体的な営みを保障しているという独自性や、運営上の課題を明らかにしてきました。

2015年にはようやく「設備及び運営に関する基準（厚労省令63号）」が策定され、「運営指針」や解説書も発行されるとともに、指導員には、国家資格に準ずる「認定資格」も誕生しました。設備・運営基準が必ずしも従う必要がない参酌基準であることや、定資格研修の内容が不十分であることなど、課題は残すものの、質的向上に向けて大きな転換期を迎えています。

小学生の放課後対策は今、世界的に注目されており、各国が自国の教育保育理念及び社会的課題を反映させた改革を進めています。日本も「子どもたちに主体的な活動の中で自主性・社会性・創造性を向上させる」ことが目標とされるなど「女性の雇用対策」から「子どもの発達保障」の視点へとシフトしてきている中、それら目標を実現するための専門職の養成・研修が課題だと認識し、研究を続けています。

第94回学位記授与式

第94回学位記授与式を9月8日に挙行しました。文学部密教学科1人と大学院修士課程密教学専攻（通信教育課程）2人が卒業・修了し、出席した2人に添田隆昭学長から学位記が授与されました。昨年度に続き、本年度も新型コロナウイルス感染予防のためマスク着用の上、出席者は卒業生と教職員のみで行いました。

式の後は卒業生と先生方に懇談の時間が設けられ、思い出話に花を咲かせました。

名誉教授号贈呈式

9月10日に本学第2会議室にて名誉教授号贈呈式を行いました。本年度は前学長の乾龍仁先生、トーマス・ドライトライン先生が名誉教授に就任し、添田学長から名誉教授号が贈呈されました。

乾先生は「自分が名誉教授になるとは若い時には考えもしませんでした。高野山大学でお世話になって、40年間密教にかかわってきた成果を人々に伝えて、弘法大師の教えのすばらしさを今後も伝えることで大学に貢献できればと思います」、ドライトライン先生は「自分が教授になっているとは思わなかったし、名誉教授号までもらってしまいました。何かの間違いじゃないですよね？」と笑いつつ「今後も授業を続けて、弘法大師の教えを世界に広めることができればと思います」と語りました。

東京別院 連続公開講座 宗教教育行事

9月から12月にかけて、東京都港区にある高野山東京別院で連続公開講座「東京で学ぶ高野山」が開かれました。

本来は東京別院にて対面形式で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いZoomを使ってのオンライン講座となりました。9月5日に行われた第1回では、添田学長と東京大学先端科学技術研究センターの神崎亮平所長が対談。「最先端の智と最深奥の智の出会い」をテーマに語りあいました。

10月～12月の講座では、本学名誉教授の武内孝善先生と元教授の井上ウィマラ先生が登壇し、全3回の講座を行いました。武内先生は「空海が解き明かす『般若心経』の秘密－般若心経秘鍵」の演題で、『般若心経秘鍵』の上表文と嵯峨天皇をはじめ歴代天皇による疫病封じの歴史、般若心経の解説と空海の関わりなどについて、井上先生は「ブッダの幸福感から空海の十住心論へ」の演題で歌や参加者同士のミーティング、瞑想体験を交えながら、マインドフルネスの思考や感情の見つめ方などについて語りました。

講座終了後の入学相談会には社会人の方を中心に参加があり、将来的な入学を考える方から入試や学費、勉強と仕事の両立といった悩みなどについてさまざまな質問を受け付けました。

柳田邦男元理事長に感謝状 高野山医療フォーラム

10月1日、高野山東京別院において、「21世紀高野山医療フォーラム」の開催と運営にご尽力賜りました柳田邦男元理事長に、添田隆昭学長から感謝状と記念品が贈られました。柳田先生は台風が接近する中で東京別院までお越しくださり、添田学長と歓談されました。

同フォーラムは新日本科学の永田良一代表より支援を受け、「生と死が手を結ぶには」をキャッチフレーズに、平成17年8月理事会が発足しました。記念すべき第1回を同年11月東京国際フォーラムにて開催した後、東京・大阪・福岡・高野山・京都等の各地を会場に、約10年にわたり有識者による講演・シンポジウム等を実施し、平成28年5月東京ビッグサイトにおける第11回をもって終了しました。また令和3年の第14回理事会（書面開催）にて会計収支事業報告等が承認され、理事会も解散しました。

柳田先生には、出演者の選定、フォーラムでのプログラム編成をはじめ、その後も記録集『「生と死」の21世紀宣言』全8冊（青海社発行）の編集に携わっていただきました。なお記録集のダイジェスト版（単行本）も刊行を予定しています。

OC報告会

高野山キャンパス、河内長野キャンパス、難波サテライト教室では、それぞれオープンキャンパスや進学相談会など、各キャンパスの魅力に触れてもらうイベントを開催しています。ここでは、各キャンパスで行ったイベントを振り返ります。

高野山キャンパス

高野山キャンパスでは、7月25日と8月22日に対面形式のオープンキャンパスを行いました。高校生の方とその家族を中心に7月25日は6組、8月22日は11組の方が参加しました。

オープンキャンパスでは、学科紹介や模擬講義、奨学金説明会の他、学生ガイドによるキャンパスツアー、壇上伽藍ツアーも行いました。キャンパスツアーでは通常時は閉鎖されている図書館の正面玄関が開放され、参加者は図書館の建物内を歩いたり、大菩提院を見学したり、また学生が廊下に掲示されている血曼荼羅について解説しました。

個別相談会では入試や学生生活、勉強への不安について質問したり、石楠花寮を見学したり、高校生から社会人の方まで多くの入学希望者と交流することができました。

また、ウェブ会議ツール「Zoom」を使ったオープンキャンパスも6月～8月にかけて開催。マイページによるキャンパス紹介や奨学金の説明などを行い、こちらも毎回全国の高校生や社会人の方が参加しました。

河内長野キャンパス

教育学科では、コロナ禍が続く中Webオープンキャンパスという形でスタートしました。初めて対面でオープンキャンパスができたのは7月4日、この日は音楽の模擬授業で参加した生徒たちの明るい顔を見ることができました。その後、7月18日に幼児英語の模擬授業、8月22日に国語の模擬授業を行い、いずれも本学の講義の特色を示せた良い授業であったと思います。

しかし、さらにコロナ感染者が増え9月5日は中止。感染に十分気を付けた上で9月11日の理科実験は実施することができ、これを最後に今年度のオープンキャンパスは終了となりました。緊急事態宣言が続いたことから思い描いていたオープンキャンパスの実施が難しかったこと、河内長野市内の公立高校の生徒でさえ教育学科が河内長野市にあることを把握していないという認知度の低さなどが参加人数の増えない要因であったと考えられます。

しかし、来年度は年間計画を練り、併設する大阪千代田短期大学との同日開催などにぎやかなオープンキャンパスが期待されます。逆風を揚力にして飛躍できるよう、引き続き取り組んでまいります。

難波サテライト教室

難波サテライト教室では、これまでに7月18日と10月17日の2回オープンキャンパスを開催致しました。内容は、教室紹介、学科紹介、模擬講義でコロナ禍であったため、Zoom配信中心のオープンキャンパスとなりましたが、多くの方に参加いただきました。

難波サテライト教室では、昨年度より、通常講義もほぼ全てのZoom配信しており、対面講義に参加できない場合は、自宅からZoomで参加できる体制を整えているため、学生は自分の都合に合わせた形で受講されています。仕事の都合によりライブで受講できない場合には、録画した講義を後日視聴いただくこともできます。

また、今年度から、高野山本校の講義の主要な講義もZoom配信で難波サテライト教室で受講できるようにしており、学べる講義が大幅に増えました。

Zoom配信で受講ができるようになったことで、毎日教室まで通えない遠方の方にも入学いただけますのでご興味のある方はお気軽にお問合せください。また、お知り合いの方にも難波サテライト教室での学びをお伝えいただきまして、多くの社会人の方々に有益な時間を過ごしていただきたいと思います。

体験イベント「ふれたい、高野山。」大学もプログラムに参加しました

南海電気鉄道株式会社と株式会社JTBによる高野山エリアの体験イベント「ふれたい、高野山。」が2021年8月23日～9月5日に行われ、本学もプログラムに参加しました。

イベントでは「高野山の人、モノ、ココロにふれる」をテーマに、声明ライブやお守りづくりなど高野山ならではの良さを体感できる約30種類のプログラムを実施。本学は8月28日と9月5日に「ミニ高野山講義」と「お坊さんセラピー」の2つのプログラムを実施しました。

金剛峯寺新別殿で開かれた「ミニ高野山講義」では、2日間で6人の先生が講義を行いました。毎回受講する熱心な方や、「聞いて行ってもいいですか？」と立ち寄って行く観光客の方もおり、たくさんの方に参加いただきました。

「お坊さんセラピー」は高野山駅に特設スペースを設置。密教学科4年の根本享典さんが高野山の歴史や観光、弘法大師の教えなど、訪れた観光客が選んだテーマをもとに語り合い、高野山の魅力を伝えました。

チベット仏教の記録 加藤氏より フィルム寄贈

去る4月と5月の2度にわたり、写真家の加藤敬氏より西北インドのラダック地方をはじめとする地域のチベット仏教に関する貴重な写真フィルム及び関係書籍の寄贈を受けました。

加藤氏は本学が昭和54年と同57年に実施した第3回及び第4回のチベット仏教文化調査団に参加されました。本学隊員が解説を担当した写真集としては、松長有慶先生との共著になる『マンダラ―西チベットの仏教美術』（毎日新聞）をはじめ、小林暢善師解説の『マンダラ蓮華―アルチ寺の仏教宇宙』（平河出版社）や、塚本佳道師解説の『マンダラ群舞―ラダックの仏教仮面世界』（同上）があり、この他にも小林・塚本の両氏に常田昇氏が加わって解説を担当された『マンダラの里―ラダック、冬に生きる』（同上）、さらに松長・小林・塚本の3人に氏家覚勝先生も執筆を担当された『聖なる響―西チベット少数民族の祈り』（同上）などがあり、いずれも斯学で高い評価を受けています。

この度、これらの写真集に使われた全ての写真フィルムが本学に寄贈され、本学からは10月に添田学長名での感謝状を送付しました。写真フィルムは内容を確認した後、洗浄と保存作業を進めており、今後は本学の教育研究事業や広報に活用できるものと期待が高まっています。

日録 令和3年7月～12月

7月

4	日	河内長野オープンキャンパス
12	月	9月卒論・修論提出期限
18	日	オープンキャンパス（河内長野）／WEBオープンキャンパス（難波サテライト教室）
21	水	教授会
23	金	通信夏期スクーリング（～8／2）
25	日	オープンキャンパス（高野山）

8月

5	木	通信夏期研究発表会
6	金	WEBオープンキャンパス（高野山）
10	火	夏期休業開始・前期成績報告書提出期限
13	金	盂蘭盆（～15日）
16	月	前期成績報告期限（河内長野）
22	日	オープンキャンパス（高野山・河内長野）
23	月	9月修了口述試問／報告会／通信一次判定
25	水	前期成績通知（郵送）／再試験願提出日（～27日）／WEBオープンキャンパス（高野山）WEBオープンキャンパス（河内長野）
28	土	再試験・追試験日
30	月	

9月

1	水	教授会／留学生日本語夏期講習（～15日）／再試験・追試験日（河内長野）
5	日	東京別院公開講座
8	水	学位記授与式（9月卒業）名誉教授号授与式
9	木	保護者懇談会／オープンキャンパス（河内長野）
11	土	教授会
15	水	客員教授・名越康文先生講演会（難波サテライト）
18	土	受験相談会（河内長野）
23	木	後期授業開始
24	金	大学院前期入試・通信前期二次面接
25	土	

10月

1	金	履修登録科目変更期限（河内長野）
5	土	東京別院連続公開講座
11	月	卒論・修論目次提出期限
13	水	教授会
16	土	総合型Ⅰ期（教育）
17	日	WEBオープンキャンパス（難波サテライト）
20	水	教授会／後期科目取り消し期限（河内長野）
21	木	報恩日
23	土	総合型Ⅰ期（密教）
24	日	通信学習支援会
27	水	臨時教授会
29	金	後期科目取り消し期限（高野山）

11月

6	土	東京別院公開講座
17	水	教授会
26	金	高野山会議（～28日）
27	土	併設校・指定校学校推薦型選抜（密教・教育）
29	金	4ターム講義開始（河内長野）
30	火	博士論文提出期限

12月

1	水	臨時教授会
4	土	総合型Ⅱ期、3年・社会人編入前期、留学生・留学生編入一期選抜（密教）
5	日	東京別院連続公開講座 総合型Ⅱ期（教育）／社会人編入前期選抜（難波サテライト）
8	水	臨時教授会
15	水	教授会
18	土	オープンキャンパス（河内長野）
19	日	公募制学校推薦型（教育）
21	火	追悼法会
22	水	教授会（河内長野）
23	木	年内最終講義
24	金	冬季休業（高野山）
27	月	冬季休業（河内長野）

第16回フジキン小川修平記念講座講演会

今年度の「第16回フジキン小川修平記念講座講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本年度も動画配信の形式で開催する運びとなりました。

本年度の講演および講師

・神崎亮平 先生（東京大学先端科学技術研究センター所長・教授）

「自然と共存する科学技術を求めて～昆虫・ロボット・コンピュータが拓く新しい世界～」

・奥山直司 先生（高野山大学密教学科教授）

「南方熊楠における科学と宗教 真言僧土宜法龍との対話を通じて―」

詳細は高野山大学ホームページ「フジキン記念講座講演会」内から。

寄付金御礼

（2021年6月～2021年10月）＊順不同

多田 義信様 百万円　城山 律子様 十万円
城山 昭市様 十万円　松本 有加様 四千円

全国の皆様から寄付金を頂戴いたしましたことに心から感謝申し上げます。大学の教育・研究活動に有効に活用させていただきます。今後とも、引き続き皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

メールアドレスの登録にご協力ください

高野山大学では、同窓会員や卒業生の皆様にメールアドレスの登録をお願いしています。登録いただいた皆様には、入試やオープンキャンパスをはじめとした学内行事の情報を不定期でお送りします。

メールは下記のQRコードから作成、送信ください。

※いただいた内容は大学から皆様への情報発信にのみ使用させていただきます。